

創業サポート事業の概要（案）（スタートアップ支援）

創業準備期

事業アイデアが生まれており、創業に向けた準備が進む段階

創業期

製品やサービスの開発が進み、市場投入が行われる段階

成長期

事業を拡大し、さらに大きな飛躍を目指す段階

関係構築

コンソーシアムの構築

- ・早稲田大学、東京理科大と連携し、創業サポート事業の枠組みを構築
- ・各主体の異なる強みを相互に生かした連携による相乗効果を図る

情報発信

周知

- ・新宿区の支援施策を専用ホームページ、SNS、パンフレット等で発信
- ・大学等でキックオフセミナーを開催し、学生等の参加を促進

育成

アクセラレーションプログラムの提供

- ・受講者は大学からの推薦と一般からの公募を想定
- ・受講者は毎年募集し、事業化を前提とした事業計画を持っていることを応募の条件とする
- ・プログラム内容は大学等と連携して構築

実証実験の機会提供

- ・仮説の検証や社会実装のため、区有施設での実証実験の機会を提供
- ・行政目的に合致する場合は、新宿区民間提案制度を活用し仮説を検証
- ・行政目的に合致しない場合は、産業振興課が所管となり、事業内容に応じて関連部署と調整のうえ仮説を検証

育成

事業化に向けた支援

- ・アクセラレーションプログラムのメンターによるアフターフォローなど、継続した支援を実施

交流

コミュニティの形成

- ・アクセラレーションプログラムの受講者を対象とした交流会の開催

発表

ピッチコンテスト

- ・アクセラレーションプログラムの受講者によるピッチ開催
- ・資金調達を主たる目的とする
- ・区内大学との共催によるピッチコンテストも検討
- ・区の創業融資の活用

↑ ↓ マッチング

金融機関・VC・企業

連携

東京コンソーシアム

*スタートアップ企業の成長と創業促進のため東京都が設立したエコシステム

創業サポート事業の概要（案）（スモールビジネス支援）

創業準備期

事業アイデアが生まれており、創業に向けた準備が進む段階

創業期

創業5年以内で、従業員も数名程度の段階

成長期

事業が軌道に乗り、売上や従業員数が増加する段階

関係構築

インキュベーション協議会の設立

- ・インキュベーション施設との定期的な情報交換の場として協議会を設立
- ・本協議会により創業サポート事業の枠組みを構築

情報発信

周知

- ・新宿区の支援施策を専用ホームページ、SNS、パンフレット等で発信
- ・キックオフセミナーを開催し、対外的に周知
- ・区内認定インキュベーション施設への入居促進

育成

創業塾の提供

- ・創業までの道筋を段階的に学べる連続した講座を提供
- ・最終的に事業プランをプレゼンし、フィードバックを受ける場を設ける

商工相談員による創業相談

- ・アイデアや事業モデルの具体化に向けた相談支援を実施

育成

事業化に向けた支援

- ・経営サポート事業の相談支援等で継続的に支援

交流

コミュニティの形成

- ・創業塾の受講者を対象とした交流会の開催

発表

プレゼンテーションと個別相談会

- ・創業塾の集大成として、事業プランのプレゼンを行う
- ・金融機関の担当者が相談員となり、個別相談会を実施
- ・区の創業融資の活用

マッチング

金融機関

連携

TOKYO創業ステーション丸の内

*東京都中小企業振興公社が運営する、事業計画作成のサポートや専門家相談、各種セミナーの開催など多様なサービスが受けられる創業支援施設